

平成23～25年度に行政評価(外部評価)を実施した55事業のうち、継続判定の12事業及び令和5年度までに取り組みを実施した41事業を除く計2事業について、令和6年度予算への反映状況及び取り組みの内容をとりまとめました。

事業名	敬老バスの交付			局名	健康福祉局	評価年度	23			
判定結果	見直し	判定結果の内訳及び市民判定員の主な意見	廃止	1	利用している人数・割合が低い／高齢者イコール弱者ではない					
			見直し	14	負担金の引き上げ・見直し／利用限度額・上限の設定／年齢の引き上げ					
			継続	2	高齢者のいきがいである／実施をしながら効果を見守りたい					
取組方針	【判定結果の趣旨に沿った取組】 敬老バス事業費の積算方法を見直すことにより経費の縮減を図るとともに、暫定上限額を設定し、その額を超えると見込まれる場合には新たな見直しを行う。引き続き、持続可能な制度構築に向けた検討を進める。									
取組内容	より使い勝手が良く、公平で持続可能な制度とするため、令和4年2月より対象交通拡大と利用上限回数設定の制度変更を実施した。また、令和6年2月より地下鉄・市バスの乗り継ぎに係る新たな利用回数計算の導入を実施した。これらの敬老バス制度の見直しの目的が達成されているか、制度変更後の影響調査を引き続き実施し、より公平で持続可能な敬老バス制度の構築を検討するが、一定の見直しは完了した。									
見直し額 (一般財源)	—									

事業名	学校体育センター			局名	教育委員会	評価年度	25
判定結果	見直し	判定結果の内訳及び市民判定員の主な意見	廃止・撤退	5	廃止5		
			民営化	1	民営化1		
			見直し	22	市の関与の縮小3 料金の引き上げ19		
			継続	3	経費の節減2 収入の増加1		
取組方針	【判定結果の趣旨に沿った取組】						
	収支状況の改善目標を25年度中に設定し、使用料収入の増加や経費節減により改善目標の達成をめざす。 利用者について拡大する余地があることから、有料利用者の拡大等により使用料収入額を増額するとともに、管理体制等の見直しにより、委託経費を削減しつつ、収支の状況を確認しながら、使用料のあり方について検討する。						
取組内容	施設の有効活用として、天白学校体育センターについては、令和9年度開校予定の愛知県立特別支援学校の用地として活用されるほか、中川学校体育センターについては、周辺環境や社会情勢を見据えた上で松蔭公園と一体的な整備を計画していく予定であることから、過半の施設の方向性が示され、一定の見直しは完了した。						
見直し額 (一般財源)	△421(△516)						